

図書館だより

読書について思うこと

島根県教育委員会

教育長 坂本和男

近年、教育についてそのあり方が見直され、まさに教育改革ともいべき変革が進められている。

それは、生涯学習社会への移行に伴い、学校教育を単に学校での画一的な知識習得に留まらず、自ら学ぶ力を身につけることに重点を置く、新しい学力観に基づく教育を進め、生涯にわたって学習する人間を育てようとするものである。

このところ、社会の変化は激しく、人々の志向は多様化しており、学校での学習ストックのみでは変化に対応できない状況となっている。また、長寿化や余暇の増大によって学習に対する社会のニーズは年々増加してきている。

ところで、自ら学ぶ方法は学習講座、講演会、マス・メディアと様々であるが、昭和一桁の私達にとっては最も手つ取り早いのが読書である。

書物には、古典のように長期にわたって通用する名著や、あるいは年々変化する社会、技術等をとらえたもの、さらには即時的な雑誌の記事等にいたるまで様々なジャンルがある。それらをうまく使い分けることによって、分析の手法や論点を学び整理することができる。読書はその人の都合によって活用できるし、蓄積も容易である。また、自分で所有しても図書館の書物を利用するにしても自由である。私達の世代にとって生涯学習を進めるためには、読書が最も有効な手段のように思える。

図書館の活用の仕方は、人それぞれであろう。自分に適した利用法を考えて、自分流の読書にふさわしい図書館の位置づけを行い、読書によってその目的を達成してほしいものである。

敦煌の旅(2) —— シルク・ロード

敦煌の今昔

西安から中型のジェット機で約3時間、敦煌空港に着いた時にはほつとする。夕方6時だというのに、全国一律の北京時間で真昼のようだ。年間雨量は37ミリというから、日本の1日分である。古くは沙州しゃしゅうと呼ばれたというが、今の敦煌も砂とほこりの町である。ともあれ甘肃省の田園都市で人口は10万人、とてもなく広い市域の大部分はゴビ（元来は蒙古語で砂と小石の混じった平原）と砂漠だ。祁連山脈の雪解け水が湧き出て樹木が茂るオアシスは、その中の単なる点に過ぎない。そうした土地が東西交流の拠点となり、敦(大さく)煌(こう)と名付けられたのはなぜだろう。

今から約2,100年前、国内を整備した漢の武帝は眼を転じて匈奴（蒙古高原に本拠を置く

騎馬民族）征服に専念。若き勇将カクキヨハイは祁連山に匈奴をせん滅して河西回廊から追い払い、その跡地に東から武威・張掖・酒泉・敦煌の河西4郡を置く。そこで、敦煌は西域に対する最前線の拠点になったという次第だ。さらに武帝はチョウケンを中央アジアへ派遣、未知の西域諸国との情報を集める。こうして匈奴に対抗するためには、“血の汗を出し、一日に千里を走る”という汗血馬を求めるにしきず、と大宛（だいえん）国に遠征して名馬と軍馬を得る。ところが、こうした軍事目的から出た武帝の西域支配が、予想もしない東西貿易と文化交流を開くいと口になった。

西域の商人は宝石や香料などを中国にもたらし、絹織物・漆器・金などの中国商品を持ち帰るという、いわゆるシルク・ロード（絹

団体貸出のご案内

当館普及係では、保育所・学校、地域や職場などの読書グループへ、本を一括貸出する、団体貸出を行っています。

団体貸出は、100冊まで3ヵ月間以内の範囲で利用していただける制度です。

現在、県下の約200団体で、年間のべ約3万5千冊が利用されています。

県西部の方は、浜田市にある西部読書普及センターをご利用いただけます。

★お問い合わせは

島根県立図書館普及係

☎ (0852)22-5729・5730

★県西部の方は

西部読書普及センター

☎ (0855)23-6785 まで



元島根県立図書館長 速水保孝

の道)が開かれ、敦煌の地がその拠点になつた。それだけではない、人の交流は“心の文化”を持ち込んだ。宗教では、インドから仏教が、ペルシャ(今のイラン)からイスラム教が、ローマからはキリスト教が中国へ伝えられ、同時に美術・音楽・科学・思想などの東西交流もあつた。わけても、印度で2,500年前に生まれた仏教は西域を回り、紀元1世紀の後半に中国へと伝わる。その仏教文化が一千年間にわたって集約され、けんらんと花開いてなお今日に伝えられているのが、砂漠のオアシスに残る敦煌の莫高窟である。

一つの軍事基地から出発し、世界の一大文化拠点として栄えた敦煌は、名の如く“大きく盛んな”都市として在り続けている。



日干し煉瓦造りの空港ターミナル

新刊案内

「海外安全ハンドブック 1, 2, 3」

1. 北米、中南米編 2. ヨーロッパ、アフリカ編
3. アジア、オセアニア、中近東編 外務省監修
トラベルジャーナル編刊 ①1165円②1360円③1263円

年間1000万人を越える日本人が海外旅行に出かけ、60万人以上が外国で生活する時代ですが、その増加と共に、トラブルに巻き込まれるケースが飛躍的に多くなっています。この本は、安心して観光旅行を楽しみ、ビジネス、留学を有意義に過ごすためのノウハウが、世界各国の大天使館、領事館の情報をもとに、具体的に紹介してあるハンディな本です。

社会科学(一般)

『情報図鑑』

上田篤・さとうち藍・編著 松田達英・絵
福音館書店 1800円

何かに夢中になつてもっと知りたい時、また疑問を感じて調べてみたい時、どこへ行けばいいでしょうか。この本はそんなときに格好の「博物館から大自然までのガイドブック」です。全国の博物館、美術館、資料館から約270か所を厳選し、紹介。子供から大人まで楽しめます。

姉妹編に、冒険・遊び・自然・工作などの図鑑があり、いざれも自然と遊ぶ楽しさ、知る楽しさが感じられる本です。

自然科学(子供)

利用案内

- 休館日 毎週月曜日・国民の祝日
毎月末日(月末が日曜日にあたると
きはその前日)
年末年始 12月28日～1月4日
- 貸出し 冊数…5冊以内
期間…15日

案内

- 開館時間 9時～18時

子ども室は火曜日～土曜日は13時～18時
ただし、小・中学校の週5日制導入に伴い、第二土
曜日は午前9時から開きます。

島根県立図書館 〒690 松江市内中原町52
TEL (0852)22-5734
FAX (0852)22-5728

行事予定

2月

1 月 休館日	2 火	3 水 親子で絵本 を読む会 15:00～16:00	4 木	5 金	6 土
7	8 休館日 講演会 13:00～15:00	9 成人読書会 13:00～15:00	10 親子で絵本 を読む会 15:00～16:00	11 休館日 (建国記念日)	12 出雲国風土記 を読む会 13:00～15:00
14	15 休館日	16	17 親子で絵本 を読む会 15:00～16:00	18 万葉集を読む会 14:00～16:00	19
21	22 休館日	23	24 親子で絵本 を読む会 15:00～16:00	25	26
28		 福	 福	 福	 福

○館内資料展示 ……「宍道湖に関する資料展」

3月

1 月 休館日	2 火	3 水 親子で絵本 を読む会 15:00～16:00	4 木	5 金	6 土 古文書を読む会 (近世) 14:00～16:00
7	8 休館日	9 成人読書会 13:00～15:00	10 親子で絵本 を読む会 15:00～16:00	11 万葉集を読む会 14:00～16:00	12 出雲国風土記 を読む会 13:00～15:00
14	15 休館日	16	17 親子で絵本 を読む会 15:00～16:00	18	19
21	22 休館日	23	24 親子で絵本 を読む会 15:00～16:00	25	26
28	29 休館日	30	31 休館日	 福	 福

○館内資料展示 ……「ロシア、ソビエトの資料展」

※各種講座は講師の方の都合により変更する場合もあります。

編集発行 島根県立図書館 松江市内中原町52 TEL 0852-22-5725

発行日 平成5年1月20日

FAX 0852-22-5728